



平成 23 年 11 月 25 日

各 位

会 社 名：株式会社三栄建築設計
代表者名：代表取締役社長 小池 信三
(コード番号：3228 東証・名証 第二部)
問合せ先：取締役管理部長 吉川 和男
電話番号：03-3395-3587 (代表)

会 社 名：エス・バイ・エル株式会社
代表者名：代表取締役社長 荒川 俊治
(コード番号：1919 東証 第一部)
問合せ先：管理本部長 岩崎 和行
電話番号：06-6242-0555 (代表)

株式会社三栄建築設計とエス・バイ・エル株式会社との業務提携に関するお知らせ

株式会社三栄建築設計(以下「三栄建築設計」といいます。)とエス・バイ・エル株式会社(以下「エス・バイ・エル」といいます。)は、相互の発展・繁栄を図ることを目的とし、狭小地における住宅市場において、「狭小3階建住宅向け構法」を新たに開発した後、相互のノウハウを共有し、事業展開することに関する業務提携契約を締結致しましたので、下記の通りお知らせ致します。

記

1. 業務提携の理由

三栄建築設計は、木造軸組構法による建売分譲住宅及び住宅の建築請負を中心にして、特色である木造3階建住宅において、首都圏の木造3階建住宅シェア(※1)約6%を獲得しており、都心に近いエリアでの建売分譲住宅の生産及び住宅の建築請負に特色を持っています。一方、創業 60 年という最も長い歴史を持つ住宅メーカーであるエス・バイ・エルは、30 年前から「木質パネル一体構法」での住宅供給をし続け、工場生産によるパネル供給で住宅の建築を行っており、耐震性と耐久性に優れた“ずっと強い”住宅に特色を持っています。近年では、エス・バイ・エルは、これまでハードルが高かった都市部における狭小住宅市場への参入を目的とした狭小3階建住宅に特化した新構法及びシステムの開発に着手しております。

本業務提携契約の締結により、三栄建築設計は、住宅総合生産企業として、エス・バイ・エルの性能品質の高い「S×L構法」及び、現在開発中の「狭小3階建住宅向け構法」を一部使用することで、事業回転率の早期化を図り、リーズナブルな価格で提供できる住宅の領域の拡大を図り、より多くの都心に住みたいニーズに応え、さらなる市場の獲得を目指すことを目的としています。

また、エス・バイ・エルは、三栄建築設計に工場生産のパネル供給をすると共に、これまで参入できていなかった都市部における狭小住宅市場に対して、新たに「狭小3階建住宅向け構法」を導入することで、「狭小3階建住宅向け構法」による売上を確保し、三栄建築設計へ資材供給を通じ、首都圏における売上の拡大を図ることを目的としています。

両社共、首都圏において競合することはないと考えており、本業務提携契約の締結により、両社事業にシナジー効果が見込まれることから、マーケットの拡大・成長や事業の効率化が期待されます。

両社では既に、業務提携の可能性検証の為の覚書を締結し(平成 23 年2月8日)、設計、施工、コスト、部材供給等の検討を進めておりましたが、この度、一定の目処がたった為、本業務提携契約を締結することになりました。また、双方にとって非常にメリットの大きい「狭小3階建住宅向け構法」の開発は、既にエス・バイ・エルにて、今年度より着手しております。

(※1)シェア約6%は、国土交通省が公表している三栄建築設計と同じ工法による首都圏(東京都、神奈川県

県、千葉県、埼玉県)の木造3階建住宅の月次データをもとに、三栄建築設計の決算期である平成 23 年8月期に合わせて三栄建築設計が集計し、算定したものです。

2. 業務提携の内容

- ・三栄建築設計は、狭小3階建住宅の設計、施工、販売に関するノウハウを、エス・バイ・エルに提供。
- ・エス・バイ・エルは、性能品質が高く工期短縮が図れる工場生産の認定構法「S×L構法」を、三栄建築設計に提供。
- ・エス・バイ・エルは、「S×L構法」に関するノウハウ及び実施に関する情報を、三栄建築設計に提供。

3. 業務提携の当事者の概要

(1) 三栄建築設計の概要

①	名 称	株式会社三栄建築設計		
②	本 店 所 在 地	東京都杉並区西荻北二丁目 1 番 11 号		
③	代 表 者	代表取締役社長 小池 信三		
④	主 な 事 業 内 容	戸建分譲事業、注文住宅・請負事業、賃貸収入事業		
⑤	資 本 金	529 百万円		
⑥	設 立 年 月 日	平成 5 年 9 月 29 日		
⑦	大 株 主 及 び 持 株 比 率 (平成 23 年8月 31 日現在)	小池信三	69.29%	
		ビービーエイチ・フォー・フィデリティ・ロープライス・ストック・ファンド	3.69%	
		エイチエスビーシー・ファンド・サービシズ・クライアント・アカウント・500・ピー	2.25%	
		ドイチェ・バンク・アーゲー・ロンドン・ピービー・ノントリティー・クライアント・613	1.44%	
		永大産業株式会社	1.35%	
⑧	従 業 員 数	257 名 (単体) (平成 23 年 8 月 31 日現在)		
⑨	最近 3 年間の経営成績及び財政状態			
	決算期	平成 21 年 8 月期	平成 22 年 8 月期	平成 23 年 8 月期
	純 資 産	6,556 百万円	8,737 百万円	11,279 百万円
	総 資 産	16,888 百万円	26,769 百万円	32,250 百万円
	1 株 当 たり 純 資 産	277,274.81 円	1,847.55 円	1,192.49 円
	売 上 高	29,114 百万円	30,124 百万円	37,784 百万円
	営 業 利 益	2,220 百万円	4,734 百万円	5,143 百万円
	経 常 利 益	1,992 百万円	4,468 百万円	4,813 百万円
	当 期 純 利 益	1,043 百万円	2,312 百万円	2,703 百万円
	1 株 当 たり 当 期 純 利 益	44,111.29 円	488.95 円	285.84 円
	1 株 当 たり 配 当 金	4,000 円	30 円	30 円

(注) 三栄建築設計は、平成 22 年3月1日付で株式1株につき 200 株の割合をもって、平成 23 年2月 1日付で株式1株につき2株の割合をもって株式分割を行っております。

(2) エス・バイ・エルの概要

①	名 称	エス・バイ・エル株式会社
②	本 店 所 在 地	大阪市北区天満橋一丁目 8 番 30 号 OAP タワー 5 階
③	代 表 者	代表取締役社長 荒川 俊治
④	主 な 事 業 内 容	住宅事業、リフォーム事業、不動産賃貸事業
⑤	資 本 金	9,053 百万円 (平成 23 年 10 月 31 日現在)
⑥	設 立 年 月 日	昭和 26 年 6 月 14 日

⑦	大株主及び 持株比率 (平成23年10月29日現在)	株式会社ヤマダ電機	50.32%	
		日本証券金融株式会社	2.35%	
		株式会社K B T	1.72%	
		株式会社みずほコーポレート銀行	1.60%	
		株式会社L I X I L	1.23%	
⑧	従業員数	945名(単体) 1,098名(連結)(平成23年9月30日現在)		
⑨	最近3年間の連結経営成績及び連結財政状態			
	決算期	平成21年3月期	平成22年3月期	平成23年3月期
連 結 純 資 産		8,698 百万円	8,731 百万円	8,809 百万円
連 結 総 資 産		34,912 百万円	29,019 百万円	26,505 百万円
1 株 当 たり 連 結 純 資 産		51.43 円	51.59 円	51.97 円
連 結 売 上 高		53,625 百万円	44,859 百万円	39,555 百万円
連 結 営 業 利 益		1,017 百万円	825 百万円	1,123 百万円
連 結 経 常 利 益		525 百万円	362 百万円	820 百万円
連 結 当 期 純 利 益		218 百万円	71 百万円	60 百万円
1 株 当 たり 連 結 当 期 純 利 益		1.30 円	0.43 円	0.36 円
1 株 当 たり 配 当 金		－円	－円	－円

(3)両社の関係

資本関係	両者間には、記載すべき資本関係はありません。また、両社の関係者及び関係会社間においても、特筆すべき資本関係はありません。
人的関係	両者間には、記載すべき人的関係はありません。また、両社の関係者及び関係会社間においても、特筆すべき人的関係はありません。
取引関係	両者間には、記載すべき取引関係はありません。また、両社の関係者及び関係会社間においても、特筆すべき取引関係はありません。
関連当事者への該当状況	両社は、それぞれの関連当事者には該当しません。また、両社の関係者及び関係会社は、それぞれの関連当事者には該当しません。

4. 日程

平成23年11月25日 業務提携契約締結

5. 業績に与える影響

本提携が両社の業績に与える影響については不明であります。業績の見通しに重要な影響が見込まれる場合は、別途公表いたします。

以上